

こんにちは森林官です!



西紋別支署
上渚滑森林事務所
森林官 浅野 誠一郎



所在と管轄

上渚滑森林事務所は、北海道の北東部、オホーツク海沿岸のほぼ中央に位置する紋別市にあり、紋別森林事務所との合同事務所です。

私が勤務する上渚滑森林事務所は、紋別市から20キロメートルほど内陸に入ったところにある紋別市上渚滑町周辺の国有林約9千ヘクタールを管轄しています。

紋別市は夏は比較的涼しい日が多く過ごしやすいですが、冬は厳しい寒さの日が続きます。



紋別名物
「巨大なカニの爪オブリュエ」

寒さが一段と厳しくなる2月には、冬のオホーツク海を象徴する「流水」がやってきました。森林事務所は少し高い場所にあるので、窓から

はオホーツク海を見ることができ、冬の朝は、海を見るのが日課になっています。希に、流水と共に渡ってきた「オオワシ」が市街地上空を飛び姿を見ることが出来ます。

森林官の仕事

森林官の業務は、多岐に渡ります。国有林や林道のパトロール、民有地との境界の点検管理、森林を整備するための事業の監督、森林の状態を知るための調査などがあります。今回は、森林の状態を知るための調査Ⅱ地況林況調査を紹介いたします。



地況林況の調査

これは、単純に木の太さや本数などを調べるだけで無く、枝の枯れ具合、地表に生えて

いる植生の種類や繁茂状況、過去の施業の履歴などを確認し、これからこの山にどんな手入れが必要か判断するための指標となる重要な調査です。時には、道なき道を長時間歩かなければならない日もあったり、冬には、雪にまみれながらスキーで移動する日もあります。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。

新たな技術

山の仕事と聞くと、アナログなイメージを持たれる方が多いかもしれませんが、新しい技術が徐々に取り入れられています。

その1つにUAV（無人飛



配備されているUAV

行機ドローン)があります。国有林では、自然災害などによる被災の迅速な状況把握や各種調査のため、各署に配備されており、有効に利用するため、私も鋭意練習中です。

おわりに

地域の森林を守るためには、住民の方々の理解と協力が必要不可欠です。先輩たちに教わった山の知識と新たな技術を活用しながら、自らの足で歩き、その山にあった施業を考え実行することで、豊かな水を育み、山地災害を防ぎ、多くの動植物が暮らす、様々な魅力を持った森林づくりが出来るよう、これからも尽力していきます。



UAVを用いて撮影した管内の森林